

来自近畿中心的消息

有关远程（通信）学习课程

“家庭助理员听讲预备课程”的介绍

日本是世界长寿大国，也是一个高龄者社会。（65岁以上的人占人口比率的14%）在这样一个社会里，需要护理的高龄者毫无疑问会不断地增加。可是，由于出生率降低、人口过于减少、以及女性走向社会等原因，所有的照顾、护理工作都由家人来进行，已经显得十分困难。因此，“家庭助理员”这一职业，受到了人们的瞩目。

《家庭助理员听讲预备课程》，可以帮助您掌握一些专业术语、福利方面的基础知识、以及实习报告的写法等。另外，通过录像教材，可以具体地感受到家庭助理员的工作情况和培训课程等内容。

现在，一共有11个人报名学习。如果您希望将来从事家庭助理员这项工作的话，请一定报名参加。申请材料等，请寄给首都圈中心。有关学习内容，敬请向近畿中心直接咨询。

以下为家庭助理员听讲预备课程录像教材《请您来参加家庭助理员培训讲座》中的节选。



方敬顺 女士

2000年4月，与母亲（中国残留妇人）及儿子一道，回到了日本。现在，在需要特别保健的养老院（特别養護老人ホーム）工作。

☆近畿センターからのお知らせ☆

遠隔学習課程

『ホームヘルパー受講準備コース』紹介

日本は世界一の長寿国であり、また高齢社会（人口の14%以上が65歳以上）です。このような社会は、当然介護を要する高齢者が増加します。しかし、少子化、過疎化、女性の社会進出などが理由で、家族だけで介護をすることは大変難しくなっています。そこで、現在、注目されている職業が『ホームヘルパー』。

『ホームヘルパー受講準備コース』では、専門用語、福祉の基礎知識、実習の報告書の書き方などが勉強できます。また、ビデオ教材でホームヘルパーの仕事、養成の課程について具体的に知ることができます。

現在、11名の方が受講を申し込まれています。『ホームヘルパー』を目指すみなさん、ぜひ受講してください。お申し込みは首都圏センターへ。学習内容に関するお問い合わせは近畿センターまでどうぞ。

以下、ホームヘルパー受講準備コースビデオ教材「ホームヘルパー養成講座への誘い」より抜粋。

方敬順さん

2000年4月、中国残留日本婦人であるお母さん、息子さんと共に帰国。現在、特別養護老人ホームに勤務。

现在，母亲做轮椅了。她接受的是需要护理的3级认定。我想，要是听一听家庭助理员培训讲座的话，就是不从事家庭助理员的工作，也可以照顾、护理自己的母亲。于是就开始了学习。上课的时候，我觉得那些专业术语很难…(中略)…

现在，工作方面已经习惯了。我觉得养老院的每一位老人都非常可爱。就像自己的祖母一样。我要是连着休息两天，大家都会说“你去哪儿了？我们都找你呢！”他们真的把我当成自己的孙女看待，我感到特别幸福。所以，我要更加拼命地学习，(将来)争取拿到护理员资格。



いま はは くるまいす つか せいかつ よう
 今、母が 車椅子を使って生活しています。要
 かいご にんてい う ほーむへるばーよう
 介護3の認定を受けています。ホームヘルパー養
 せいこうざ じゅこう ほーむへるばーし
 成講座を受講すれば、たとえホームヘルパーの仕
 ごとがでなくとも自分の母の介護ができると思っ
 て勉強を始めました。受講中は専門用語など
 が難しいと思いました。…(途中略)…

いま しごと な りようしゃ かがた
 今は、もう仕事にも慣れました。利用者の方々
 もとてもかわいいと思います。自分の祖母と同じで
 す。私 が2日も休むと、みんなが「どこへ行って
 いたの？探したのに。」と言ってくれます。本当に自
 ぶん まご わたし わたし かんが
 分の孫のように私のことを考えてくれます。と
 しあわ おも いっしょうけん
 ても幸せだと思っています。ですから、一生懸
 めい べんきょう しょうらい かいごし しかく
 命もって勉強して、(将来は)介護士の資格を
 取りたいと思います。

有关新设的

“家庭助理员听讲援助事业”的通知

(财)中国残留孤儿援护基金，为帮助归国者及其家人实现就业上的资格提升，决定向接受“家庭助理员2级课程培训讲座”的受训人员及其家人，提供80%的学费援助。此项援助以归国者及其家人在就业上实现资格提升为目的，援助对象包括第一代归国者以及第二代、第三代及其配偶。今年度预定的援助人数为40人。详细内容请向援护基金事務局咨询。



「ヘルパー受講援助事業」新設のお知らせ

さいだんほうじんちゅうごくざんりゅうこじえんごききん
 (財)中国残留孤儿援护基金では、き
 国者とその家族の就業上のキャリアアップ
 (資格向上)のため、ホームヘルパー2級課程
 養成講座を受講する帰国者やその家族に対して
 受講料の8割を援助することにしました。帰国
 者家族の就業資格向上という目的から、帰
 国者一世二世三世とそれぞれの配偶者も対
 象とします。今年度は40人ほどを予定してい
 ます。詳細については援護基金事務局までお問
 い合わせください。

問い合わせ先:

さいだんほうじんちゅうごくざんりゅうこじえんごききん
 (財)中国残留孤儿援护基金
 〒105-0001
 東京都港区虎ノ門1-5-8
 オフィス虎ノ門1ビル

TEL 03-3501-1050